

都小Pの目標

社会教育、家庭教育の充実
学校教育との連携を深める
青少年の健全育成の増進

PTA東京

発行 社団法人 東京都小学校PTA協議会
会長 新谷 珠恵
編集 広報委員会 委員長 増田 光子
事務局 港区東新橋2-2-10 村松ビル6F
TEL 3431-1575 FAX 3431-7072
http://www.ptatokyo.com

子供の自立と大人の関わり

東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会

講演とシンポジウムで考え

平成22年度東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会「上手に子供を
突き放せる親になろう」変わりゆく社会を生きる親と子供の力とは」
を、平成23年1月22日(土)世田谷区中町ふれあいホールで開催しまし
た。子供が自分で考えて行動する力を育て、自立に導くための保護者の
関わり方を、三人の講師の発表とシンポジウムを通して考えました。

講師の発表

アネオリンピック金 心の中に自己肯定感を育
メタリスト米田功氏は、
「幼児から小学生に体操を
指導しています。最近の
子供たちは習い事などで
忙しく、親との関わりが
薄くなっているのではと
感じています。親
が我が子を他の子と比べ
るのではなく、たとえ何
かができていなくても、
そこまでする事を認め
て褒めることが、子供の
成長に繋がります。」
家庭教育アドバイザー
の太田喜子氏は、子育て
中の母親の支援や親子の
問題に取り組んでいま
す。子供の自立を阻むも
のは、過保護、過干渉。

親が「やってほしくない
な」と思うことばかりを
する幼児期は一番やる気
がある時期。親の都合で
禁止をして手を出し思い
通りにやってしまうと、
結局自分のことが自分で
できない子供になる。そ
の為、親は口やかましく
なり、それが思春期の問
題にも繋がるとのこと。
また、わが子がどう思
われるかを気にして、他
と比較するのも、実は親
が見栄や体裁が強い場合
が多い。子供の頃母親と
の関わりが密でなかった
ことで、子供の話を聞い
てあげることができず、
子供の心を受け止めて向
き合えない親も増えてい
る。本日の支援とは、こ
のような母親の気持ちを
聞いてあげる人がいるこ
と。すると、母親の心が
安定し、子供の心の安定
にも繋がっていくという
ことでした。

シンポジウム

シンポジウムには、講
師の皆様と、新たに保護
者の代表として東京都公
立中学校PTA協議会の
金山滋美氏、品川区立二
葉幼稚園保護者の中井直
子氏が加わりました。
金山氏は、子供が小学
校入学時の校長先生の
「学校で大事なお子さん
を預かり、歩道に石や
枝など色々な障害物をば
ら撒きますが、決して掃
除しないで下さい」とい
う言葉が、距離感を持つ
て子育てをするきっかけ
となったそうです。
中井氏は、以前暮らし
たスウェーデンの、子供
が小さいうちから自分の
意志を伝えることを教
え、子供を一人として
尊重する教育を紹介。先
生は、親の事もとてもほ
めてくれて、相手を認め
るこの大切さに気づい
たとのこと。それ以来、
親子がそれぞれ、感謝し
ながら笑顔で過ごすこ
とを帰国後も心がけてい
るそうです。
「何かうまくいかない
時、子供にどんな声をかけ
た。」



会場からの質問に答える講師

都教委各部課より施策説明
教員の資質向上など
「教育振興に関する要望書」提出

東京都小学校PTA協議会が、東京都教育委員会に毎年提出してい
る「東京都小学校教育振興に関する要望書」について、東京都教育委
員会各部課より、現在行われている施策、今後の計画についてご
説明をいただく「回答の会」が、今年度も1月27日に都庁で開催され
ました。都小Pからの要望書の骨子と東京都からの回答の一部を紹介
いたします。

▼教員の資質と採用に望
むこと
学校教育を担う教職員
の役割は大きく、保護者
の期待も強くなっていま
す。教員養成や採用、任
免などにおける取組み
をお聞きしました。
地方の優秀な人材の確
保のため、PRや選考機
会の拡大を行っているそ
うです。指導力不足教員
への対応、服務事故など
の処分については、ホー

▼新学習指導要領への対
応
4月より全面実施され
る新学習指導要領につ
いて、保護者の理解と協
力を得、確実な教育成果
をあげるため、説明責任
の確実な履行をお願いし
ました。
生きる力の育成には、
の規模が必要と考え、小
学校・家庭・地域の連携
が必要であり、学校が進
んで情報提供を行うよ
う、助言しているそう
です。
【3面に続く】

パナソニック株式会社
の楠元康紀氏は、採用や
新入社員研修を担当し
ています。最近の新社会
人は、非常に素直、真面
目な反面、「社会性」や
「道徳性」、「主体的・
積極的行動力」が身に付
いていない人が見受けら
れるとのこと。
ページ上で公開してい
るとのことです。

東京都小学校PTA協議会互助会
小学生総合保障制度
大切なお子様をお守りします。
取扱代理店 東京セントラル、トラステイ保険企画
ご連絡先 03-3364-1717(東京セントラル)
※詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

PTAの活動を側面支援いたします
PTA総合保障制度
特徴: PTA活動中(主催・共催)の、PTA会員やその同居の親族および事前にPTAより認められている
代理人の方へのケガを補償します。また、PTAの管理ミスなどにより第三者にケガさせたり、財
物に損害を与え、賠償責任が発生した場合に損害賠償金を補償します。
年間保険料: 傷害 1世帯190円 賠償 1児童10円
【保障内容】 傷害補償: 死亡保険金 750万円
後遺障害 750万円~22.5万円
入院日額 5,000円
通院日額 3,000円
賠償責任: 対人賠償 1名 1億円
1事故 2億円
対物賠償 1事故 500万円
1事故 10万円
受託物 1事故 500万円
期間中
引受保険会社: A I U 保険会社、損保ジャパン
※対人・対物賠償は、1,000円、受託物は、5,000円の自己負担があります。

賠償責任補償もついて 24時間お子様をお守りします(任意加入)
小学生総合保障制度
特徴: お子さまの在校中はもちろん、ご自宅やレジャー中のケガ・病気(オプション)について24時間
補償いたします。個人でおかけになる一般の保険に比べ割安な掛金でご加入できます。
24時間健康相談サービス、セカンドオピニオンアレンジサービスがご利用できます。
Cプラン年間保険料: 3,000円
【保障内容】 賠償責任: 最高3,000万円
傷害補償: 死亡保険金 155.5万円
後遺障害 155.5万円~約4.6万円
入院日額 1,300円
通院日額 800円
その他、病気の補償や育児費用、メカネなどの身の回り品の補償、
ケガで治療を受けた場合に実際に病院にお支払いした差額ベット
代や医師の指示により購入した医療器具等の費用を負担するプラン
もあります。
引受保険会社: A I U 保険会社

万引きが増加、早期の対応を

11月13日(土)警視庁新橋庁舎大会議室で、東京都小学校PTAリーダー研修会「なぜ?どうして?子供の心がわからない」に心を映す親」を開催しました。子供の非行の裏にある背景や心理について、現場で対応する専門家のお話を聞き、子供との関わり方について考えました。



講演する石橋教授

東京都小学校PTAリーダー研修会

なぜ?どうして?子供の心がわからない
～心に闇を映す親～

まず警視庁と東京都教育庁の担当の方より、子供の非行の現状と各取組について説明。万引きは年々増加しており、特に小学生の補導数の増加は著しいとのこと。万引きは犯罪の入り口。早い段階で、犯罪の芽を摘むことが重要です。

東京都教育委員会および警視庁では、昨年、都内の全小・中学校に、犯罪について考えさせるDVDや道徳教材を配布。セーフティ教室、保護者会などで活用して欲しいとのことでした。

子供や女性への性犯罪を取り締まる警視庁「さくらポリス」は、傷ついている被害者にきめ細かく対応しています。大きな犯罪を防ぐため、小さな犯罪のうちの検挙を目標に、子供と女性を性犯罪から守っていきたいというところでした。

後半は、文教大学人間科学部臨床心理学准教授石橋昭良氏による「非行問題から見えてくる子供たち」の講演。

最近の子供の非行の特徴的な問題は、万引きなどの初発型非行の他、性、ノ、野球、英語などに深く長く関わる(ピアグループ)の同一化を図る(家族、クラス、ボランティア活動などの集団の一員だという意識を持つこと)が重要とのこと。社会全体で、子供を育てる必要を強く感じた講演でした。

会場風景



学校と家庭の教育 充実など意見交換

教育懇談会

1月13日(金)、平成22年度東京都公立幼小中高PTA連絡協議会主催「教育懇談会」が開催されました。これは、毎年この時期に、東京都教育委員会と幼稚園から高校までのPTAの代表が懇談を行うものです。

冒頭のあいさつで都教委松田次長は、「PTAとの連携・協力は不可欠。今後も共通理解を深め、子供たちの教育に関わる施策がいっそう進むよう、協力をお願いいたします」と述べ、東京都の施策について説明されました。

第22回都小P広報紙コンクール募集要項

〈趣旨〉
東京都公立小学校PTAが発行する広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰することによりPTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助とすることを目的とする。

〈対象〉
平成22年4月から平成23年3月までに、年2回以上発行された全ての広報紙(印刷・手書き・ワープロ)。

〈応募方法〉
年間発行したものをひとまとめにして綴じ(3号の場合は1～3)同じものを3部作成し郵送する。ただし複製した物は不可。また装飾補強のための表紙等はつけない。応募用紙に記入し、作品の3部各々に、ホチキス留めする。

◇
〆切＝平成23年4月18日(月)必着
送付先＝〒105-0021 港区東新橋2-2-10 村松ビル6階
(社)東京都小学校PTA協議会事務局
問合せ＝電話：03-3431-1575
FAX：03-3431-7072
E-mail：office05@ptatokyo.com
応募用紙、要項の詳細は、都小Pホームページからダウンロードできます。http://www.ptatokyo.com

魅力あふれる先生方

3月12日に表彰式で15人に

2月12日(土)、平成22年度「私たちの先生」表彰選考会が行われました。その結果、児童、保護者から推薦された15名の先生の受賞が決定しました。この事業は、子供たちの成長を心から願い、教育活動に日々努力を重ねていらっしゃる魅力ある先生に敬意と感謝を表し、保護者として応援していくために実施しています。

「表彰者紹介」(順不同)
世田谷区立花見草小 植田典子先生/世田谷区立等々力小 守安信太郎先生/世田谷区立武蔵丘小 榎原寛先生/世田谷区立塚戸小 井出京子先生/世田谷区立松丘小 大湊勝弘先生/世田谷区立奥沢小 山本仁先生/世田谷区立千歳台小 岩沢有紀先生/世田谷区立三軒茶屋小 峯岸敦子先生/世田谷区立芦花小 小島裕子先生

都小Pレポート

「笑顔や自信を増やしてくれた先生。休み時間にたくさん遊んでくれる先生。」
どの先生も、子供たち一人ひとりに意欲と情熱をもって接してくださっている先生方です。その指導は、子供の成長や学習のまとまりに結びついていく先生。音楽の指導をのびのびと行っている先生。通じて、子供たちを励ましている先生。表彰式は3月12日(土)、通信総合博物館で行われました。表彰式は、次号でお伝えいたします。

「私たちの先生」選考会

行われた選考会では、各PTAから提出された書類を確認し、推薦文を一つひとつ読ませていただきました。びっしり記入された推薦理由や、児童が書いた推薦文は、どの先生も、子供たち一人ひとりの日記に返事を書いてくれる先で行われました。表彰式は、次号でお伝えいたします。



ていねいに推薦文を読む選考会メンバー

優勝は南白糸台小

3月5日(土)、第17回ふれあいバレーボール大会が文京区スポーツセンター体育館で開催されました。本大会は、スポーツを通して各地区の交流と親睦を図ることを目的に、毎年開催されています。

ふれあいバレーボール 全都大会

朝から熱気に包まれた会場では、都内12地区から集まった精鋭チームにより繰り広げられる好プレーの連続が会場を盛り上げていました。



好プレーが連続

「家庭・学校・地域・社会の連携とPTAの役割」をテーマに、各PTAが取り組むや展望、東京都への期待などを発表。見交換が行われました。

その後、それぞれの発表について都教委各部長からコメントをいただき、時間いっぱいまで意欲が会場いっぱいになりました。

優勝は昨年、決勝は昨年の優勝チームと準優勝チームの戦いとなり、フルセットの末、南白糸台小が雪辱を果たしました。

【結果】
優勝Ⅱ府中市立南白糸台小学校
四位Ⅱ杉並区立桃井第一小学校
また、4地区からチームが参加した男子・混合エキシビジョンは、迫力あるお父さんたちのプレーに見ごたえ十分。優勝は、足立区のCOLO Rでした。



優勝した府中・南白糸台小チーム